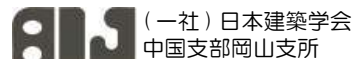


『江川式』建築から読む日本建築の近代

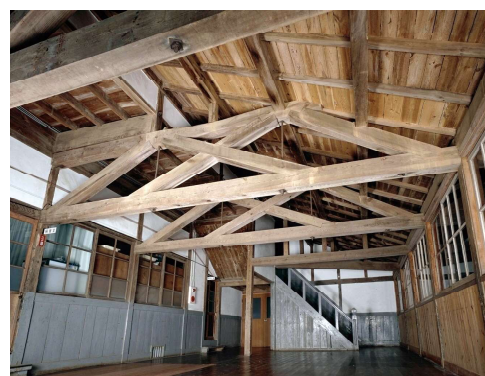


(一社)日本建築学会
中国支部岡山支所



岡山県には、旧遷喬尋常小学校校舎、旭東幼稚園旧園舎、旧吹屋小学校校舎など、明治後期に県工師として公共建築の建設を統括した江川三郎八やその周辺の技術者によって建てられた「江川式」建築が数多く残る。

江川は福島県出身で、大工としての修業を積み、建築家との交流を経ながら洋風建築を身に付け、岡山へ移り、県の公共建築の設計に大きな足跡と影響を残した人物であり、その経歴は日本の建築が西洋と出会い近代化していく過程を典型的に示すものであろう。「江川式」建築をつぶさに読み直すことにより、日本の近代建築ではなく、日本建築の近代、という問題を問いかける。



講師：清水 重敦（しみず しげあつ）

京都工芸繊維大学教授

1971年東京葛飾生まれ。1993年東京大学工学部建築学科卒、1999年同大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学。奈良文化財研究所景観研究室長を経て、2013年京都工芸繊維大学准教授、2017年より現職。

『建築保存概念の生成史』により2015年日本建築学会賞（論文）、建築史学会賞、2014年日本イコモス奨励賞を受賞。『辰野金吾 美術は建築に応用されざるべからず』（共著）にて2017年日本建築学会著作賞を受賞。

著書に『擬洋風建築』（至文堂、2003年）、『建築保存概念の生成史』（中央公論美術出版、2013年）、『“江川式”擬洋風建築』（監修、INAX出版、2019年）など。

日時／2023年2月11日（土）

14:00～16:00（開場：13:30～）

場所／岡山県立図書館デジタル情報シアター（岡山市北区丸の内2-6-30）

定員／40名（現地聴講）、100名（ZOOM）

参加費／無料

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、現地での聴講を取りやめる場合があります。

主催／(一社)日本建築学会中国支部岡山支所

後援／岡山県、岡山市、(公社)日本建築家協会中国支部岡山地域会、(一社)岡山県建築士会、(一社)岡山県建築士事務所協会、岡山建築設計クラブ

問合せ先：岡山支所事務局 山田（086-226-7499）

申し込み締切 2023年1月31日（火）

申し込み先 FAX：086-231-9847（現地聴講希望の方）

メール：yuuki_yamada@pref.okayama.lg.jp（現地聴講の方、ZOOM参加希望の方）

※下記事項を記入の上、お申込みください。メールの場合、件名に「清水重敦講演会」の旨と本文に希望する参加方法も併せて記入ください。

【氏名】

【所属】

【TEL】

【Mail】

【CPD番号】※登録希望の方

※申込みに対し、受付完了の返信等はありません。ZOOM参加希望者には講演会2～3日前に参加用のURLをお送りします。